

史上最大の作戦完了

市長 米本 弥一郎



新型コロナウイルスの集団接種が11月6日に終了しました。開始した時点では、国のワクチン供給スケジュールが明確ではなかったにもかかわらず、混乱なく終了したことに、まずは安堵しているところです。

接種事業で配慮したことですが、会場を総合体育館、保健センター、旧海上庁舎とし、市内広範囲に開設いたしました。接種は国の指針に基づき65歳以上の高齢者から実施し、看護師の問診、医師の予診、接種後の経過観察に加え、重篤な副反応に備え救急車を待機させるなど、万全の体制を取りました。会場運営などには健康づくり課を中心に、市職員が全庁を挙げて臨み、申し込みに関しては、対象者ごとに封筒や専用はがきの色分けをするなど工夫し、市最大の作戦として取り組みました。

今回、このようなスピード感を

持ったスムーズな接種ができたことは、医師会の全面的な協力をいただいたことや、いち早く潜在看護師を掘り起こし、協力依頼を行ったことなどが要因ではないかと考えております。また、非常に心強かったのは、市が誇る地域の基幹病院、旭中央病院の協力を得たことです。8月5日からは、院内特設会場で接種を開始し、1日当たり最大千人を超える接種が可能となり、大幅に加速化できました。11月15日現在、2回接種された方は5万人を超え、市民全体のおよそ8割となり、当初の目標を達成できたところです。

3回目の接種も控えています。まずは一つの大きな山を越えたことに、医療機関の皆さま、接種に協力いただいた市民の皆さま、同伴してくださったご家族の皆さま、「チーム旭」の皆さまに心から感謝いたします。